

教育実習

科目ナンバー 4H309
教職 教必 2単位

古家 正暢

1. 授業の概要(ねらい)

教育実習は、実習校における授業観察や授業実践により、教員になる上での知識や技能を身につけ、教職に対する適性について考えるとともに、自らの課題を明確にすることをねらいとしています。

2. 授業の到達目標

本実習では、次の4点を目標とします。

- (1) 実習校の生徒および教育活動の特徴について理解する。
- (2) 授業を観察し事実に基づいた記録を行うとともに、自らの学びに役立てることができる。
- (3) 学習指導案を作成するとともに、これまで学んだ指導技術を用いて授業実践を行うことができる。
- (4) 学級担任の役割を理解するとともに、学級経営の補助的な業務を行うことができる。

3. 成績評価の方法および基準

実習校からの評価に基づき行います(100%)。

教育実習へのフィードバックは、指導教諭より口頭や「教育実習日誌」へのコメントなどによって行われます。

4. 教科書・参考文献

教科書

○「教育実習日誌」

○教育実習を考える会(編)『新編 教育実習の常識—事例に基づく必須66項』 蒼丘書林 2000
ISBN: 9784915442117

5. 準備学修の内容

- 指導教諭の指示に基づき、教材研究や学習指導案の作成等に取り組みます。(自分が納得するまで…)
- 毎日の実習を振り返り「教育実習日誌」に記録します。(1時間)

6. その他履修上の注意事項

*各実習校の担当教諭と綿密に連絡を取りながら進める。

*万が一、トラブルや不安なことなどがあれば、早期に教職課程担当教員もしくは教務チームまで連絡する。

7. 授業内容

★中学校では4週間(約160時間)、高等学校では2週間(約80時間)の教育実習が実施されます。

実際の実習は、各実習校の規定に基づき指導教諭の指導によって行われますが、おもに次のような内容が含まれます。

- ガイダンス(管理職・教務主任・生活指導主任・教科担当等)
- 授業観察(担当教科・担当学級)
- 授業実践(研究授業・研究協議会を含む)
- 学級活動・ホームルーム活動等学級経営への参加
- 学校行事(運動会・体育祭等)への参加および事前準備・後片付け
- 教材研究・授業準備